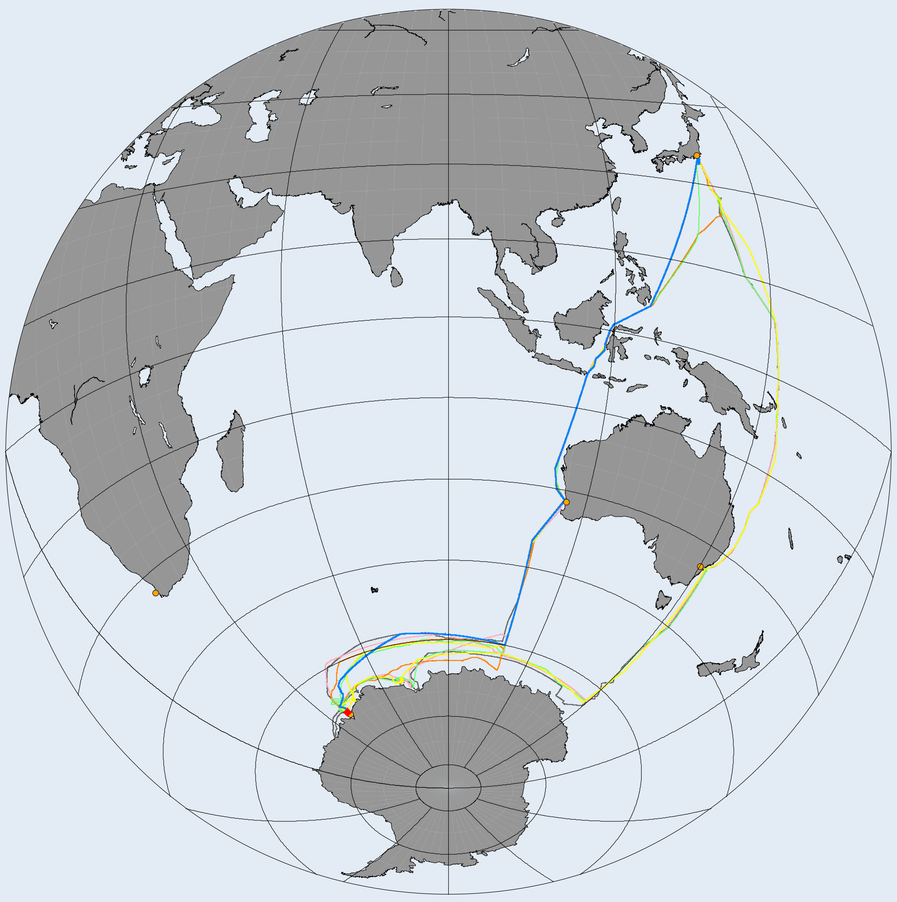
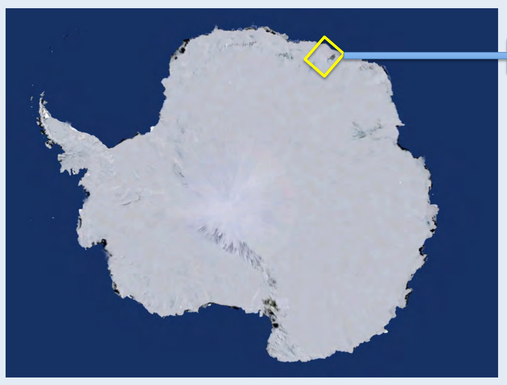
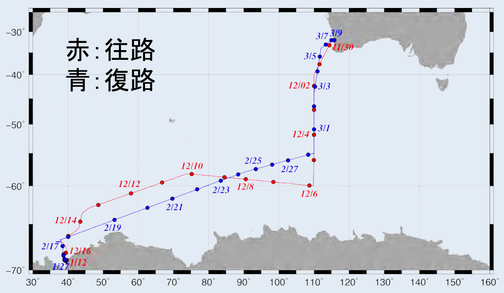
第56次南極地域観測隊・夏隊・生物圏チーム（別名：南極クマムシ調査隊）

日本南極地域観測隊(**J**apanese **A**natarctic **R**esearch **E**xpedition: JARE)は1956年から始まり今年で60年。今月末には第58次隊(JARE58)が出発します。私はJARE56夏隊に参加しました。その生物圏チームは隊員２名（クマムシ研究者）と同行者１名（バクテリア研究者）で組織され、JARE初の南極クマムシ調査隊（自称）として活動しました。2014年11月30日にオーストラリア・フリーマントルを出港し、12月24日に海上自衛隊の大型ヘリコプターで砕氷艦「しらせ」から昭和基地へ移動、その2日後、観測隊ヘリコプターで南方の露岩域（氷河で覆われていない地域）へ向い、小さな観測小屋とテントからなるベースキャンプを根城としたフィールドワークが始まりました。南方露岩域では合計36泊（ラングホブデ14泊、スカルブスネス22泊）の調査を行い、陸上の蘚類や地衣類、湖底のコケボウズ、海岸の砂泥からの微小動物洗い出しなど、南極露岩域における生物多様性解明にむけた試料の採集を行いました。

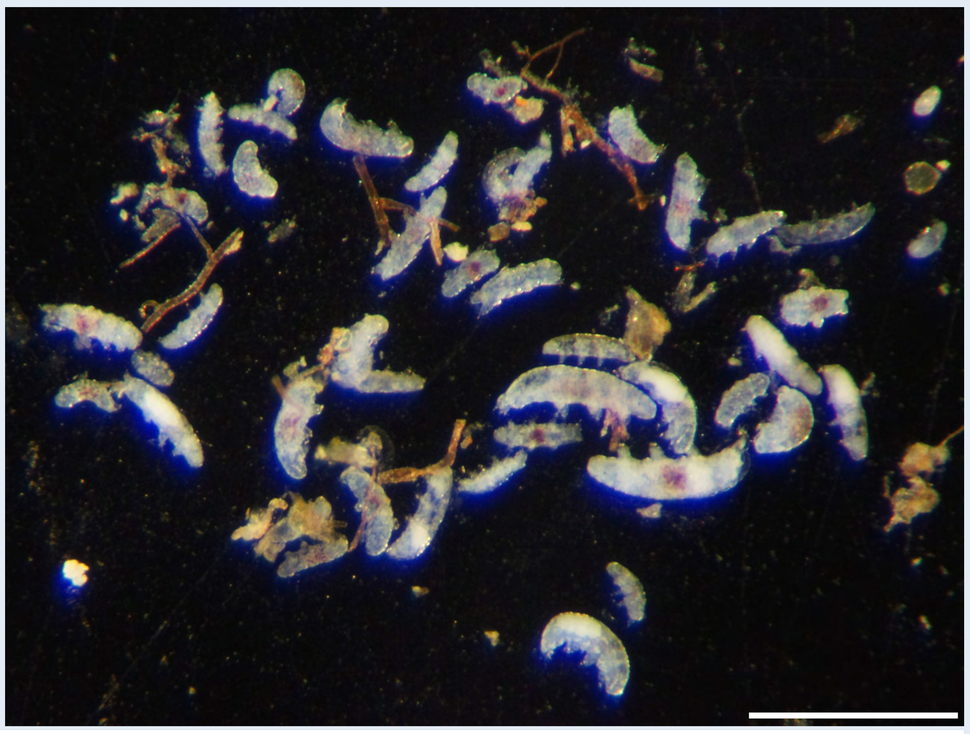
Cruise Track of JARE56（青線）







56次隊の活動範囲の中で最も遠方のインホブデはこれまで生物研究者が入ったことがなく、貴重な生物試料を入手することができました。



南極へ顕微鏡を持ち込み、現地でクマムシを確認しながら試料採集を進めました。

***Pseudechiniscus* sp.**（未記載種）

32 μm のメッシュで砂から微小動物を洗い出します。

これまでの解析で、クマムシは少なくとも５種（うち未記載種２種）、海岸から線虫7種（うち未記載種１種）が得られています。